

配管の精緻さに感激
。札幌市管工事業協同
組合（佐藤安幸理事長）
は、6日と13・16日という
スケジュールで、札幌琴
似工高の電子機械科2年
生77人を対象としたイン
ターンシップを実施した。
同協組がインターンシ
ップを行うのは2015
年度に続いて2回目で、
24社が協力した。初日は
上下水道や管、設備工事
業の概要を札幌琴似工高
で講義。2日目は上下水
道関連施設を見学した
後、最終日に各企業を1
—6人が訪問した。
14日に4人の生徒を受
け入れたふじ研究所（本
社・札幌市東区）は、事
務所で配管図や注意事項
を説明した後、札幌医科

札幌協

配管の精緻さに感激

札幌琴似工高生インターンシップ



生徒は真剣に現場を見ていた

大教育研究施設工改築の
冷暖房設備工事の現場を
案内。
建設業界への就職も考
えているという佐藤駿さ

んは、初めての現場に「ど
んなものがあるのか分か
らないから緊張する」と
話していたが、見学後は
「管を通すのは難しいと

思うが、多くの管がぶつ
からずにきちんと配置さ
れていて感動した」と振
り返った。

また、佐々木翔太郎さ
んは「CADの授業では、
現場を思い出して実際に
どうなるのかを想像しな
がらできるのでは」と今
後の学生生活のヒントを
得たようだった。

同校電子機械科のOB
で現場所長を務める池田
朋紀技術部工事課長は
「就職したては自分の仕
事内容もよく分かってい
なかった。20年以上続け
てみて、一つの建物を協
力して建てる達成感を得
た。いろんな人との出会
いで自分のもの見方も
広がった」と話し、後輩
にエールを送った。